



STOP! イラク派兵・京都

イラク派兵延長に反対しデモ実施

STOP! イラク派兵・京都は、5月30日、イラク特措法の延長に反対して、「5・30 京都行動」を実施しました。

京都母親連絡会の自治体キャラバンの予定

6月12日：亀岡市、京丹波市、南丹市、綾部市、福知山市。6月13日：舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町。6月14日：精華町、京田辺市、城陽市、宇治市、久御山町。6月20日：八幡市、大山崎町、長岡京市、向日市。6月22日：井手町、宇治田原町、和束町、笠置町、南山城町、木津川市。

参加者は、この後、四條河原町まで、イラク特措法の延長反対や、憲法9条を守るなどを訴えてデモを行いました。

京都市役所前でおこなった街頭演説には約100名が参加、主催者を代表して小笠原代表が、アメリカ力によるイラク戦争と占領には世界の批判が集まっている。侵略の理由が石油利権や新米政権づくりのだったことが明らかとなったのに、日本の安倍政権は、これに加担していると強く批判しました。そして、イラク特措法の延長に反対し、自衛隊の即時撤退を求めることが重要だと訴えました。また、イラク派兵は違法だと提訴している訴訟団の岩佐弁護士が裁判の状況を報告しました。京都地裁が3月に請求を却下したことから、大阪高裁に控訴する方向だと述べるとともに、改憲手続き法が強行成立させられた事態のもとで、憲法9条を守るとりくみを強めることなどについて訴えました。参加者からも、京都母親連絡会の衣笠さんをはじめ、数名が訴えを行いました。

お知らせ

京都共同センターの宣伝行動

6月6日(水)午後5時30分～四條河原町阪急前(憲法、イラク特措法などでの宣伝行動です。多くのおみなさんのご参加を呼びかてください)

宣伝カー流し用の新しいテープを作成中です。

次回運営委員会は、6月14日(木)午後4時から京都共同センターで行ないます。

国民投票の成立を受けて

各団体。憲法9条の改悪に反対するとりくみ強化へ

京都共同センターは、5月23日に第78回運営委員会を開催しました。運営委員会では、この間の国民投票法案や5月3日憲法集会などとりくみについて議論するとともに、新たな段階での憲法闘争をどのように進めていくのか意見交換をしました。

各団体も、憲法闘争を一層強めるための具体化をはじめとしています。

京都母連からは、京都女性九条の会がとりくんだ電光掲示板の広告のためのカンパが残ったため、女性九条の会は、はがき付ちらしを2万枚作成したとの報告がありま

した。また京都母親連絡会は6月に自治体へのキャラバンをおこない憲法9条を守ることを訴えます。各自治体への訪問は6月半ばからで訪問予定は別項の通りです。

京都自治労連は、憲法改悪に反対する宣伝の強化のために、ティッシュや横断幕、プラスターなど準備を進めていきます。

京都市教組は、京都市教職員九条の会を発足する予定で、9条を守るうたとのマグネットとシールを上げ、会員を上げていくとりくみをおこないます。

本日、憲法署名京都実行委員会が会合

京都で九条の会との連携を進め、憲法闘争を進めてきた憲法署名京都実行委員会は、5月31日(木)午後7時から日本バウンテスト京都教会で会合を持ち、これまでの京都での憲法闘争の到達を踏まえて、組織的な発展をさせることについての議論をします。京都共同センターとしても、議論に参加し、一層京都での憲法闘争が進展するように努力していくことを運営委員会で確認しました。